





# **JAPAN CHALLENGER PROJECT**

地方をもっと元気に、もっと良くしたい。

その想いとビジネスを繋げて、地域創生につながるムーブメントを創出するプロジェクト、その名も「JAPAN DREAM PROJECT」。地方の課題を解決する地域起業家たちによるビジネスプランプレゼンテーションを通じて、金融機関やIT企業とのビジネスマッチングを行います。グランプリに選出された起業家は、全国各地のグランプリ受賞者が鎌倉に集まる特別戦に参加。そこで、その年の最優秀者が決まります。

世界でもっとも深刻化する日本の社会問題を、地域起業家の夢の実現を支援することで解決する。新しい日本を作るための、地方起業サポートプロジェクトです。

**地方起業家、募集中。**

[WWW.JAPANCHALLENGERPROJECT.COM](http://WWW.JAPANCHALLENGERPROJECT.COM)

# 公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクトとは

当法人は、令和2年6月3日から公益財団法人として活動をしており、当期は、ソーシャルミッションの実現の為、下記のとおり公益事業活動を実施した。

## 理念

### MISSION 地域起業家をつくる

地域起業家が人気業種となり、地方創生事業が各地域で成功している。

### VISION 地方創生ベンチャーがITベンチャーと同様主流となる

地域が社会課題と言われたことが、昔の話と言われる。  
日本が、起業後進国から起業先進国へ仲間入りする。

### VALUE 地域起業家のプロデューサーとなる

地方創生事業にチャレンジする地域起業家の発掘、育成、発表、起業を  
トータルサポートする。

## KPI(2030年)

- ・地方創生事業モデルを100地域で、JAPAN CHALLENGER AWARD (SEMINAR)を開催する。
- ・地域起業家から10社新規上場企業に導く。
- ・大学、高校、中学校に「起業体験プログラム」を1000校に導入する。

上記、KPIに向けて、活動を進めてきた。「地域で起業に挑戦する地方創生チャレンジャー」の発掘、育成、発表、起業のトータルサポートである。また、地域起業家向けに「JAPAN CHALLENGER AWARD」を運営し、ビジネスアイデアをビジネスモデルまで構築する実践型の起業体験プログラム(JPX起業体験プログラム)を東京証券取引所と連携し、展開している。

対象者は、地域起業家、そして地方創生事業に関わるステークホルダー並びに地域の高校生などワカモノである。

また当法人の体制は、公益事業として、経営、金融、IT、観光など各専門のプロを理事として組成しており、実行部隊は、これからの主役である「ワカモノ」である。

## BOARD MEMBERS



会長理事  
藤野 英人

野村投資顧問(現:野村アセットマネジメント)、ジャーディンフレミング(現:JPモルガン・アセット・マネジメント)、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントを経て2003年レオス・キャピタルワークス創業。CIO(最高投資責任者)に就任。2009年取締役就任後、2015年10月より現職。中小型・成長株の運用経験が長く、ファンドマネージャーとして豊富なキャリアを持つ。東証アカデミーフェロー。



副会長理事  
柳澤 大輔

ソニー・ミュージックエンタテインメントに入社。1998年、学生時代の友人と共に面白法人カヤックを設立。鎌倉に本社を構え、鎌倉からオリジナリティのあるコンテンツをWebサイト、スマートフォンアプリ、ソーシャルゲーム市場に発信する。



代表理事  
中川 直洋

勸角証券(現:みずほ証券)、ワタミグループ執行役員 社長室長、広報、営業推進本部、マーケティング本部長を歴任。公益財団法人みんなの夢をかなえる会を立ち上げ専務理事として、国内最大規模のみんなの夢アワードをプロデュース。多数の社会起業家を発掘。2019年独立し、弥蔵舎株式会社を設立。地方創生プロデューサー。

理事

<業務執行理事>

仲木威雄 tsumiki証券(株)代表取締役COO (元さわかみ投信副社長)

<理事>

江成道子 一般社団法人シングルマザー支援協会 代表理事

勝見成久 サポートワン株式会社 代表取締役

白柳雅文 (株)エイト 代表取締役

本田亮 本田亮事務所 代表取締役(元電通クリエイター)

町井則雄 (株)SHINKA代表取締役(元日本財団)

渡邊智恵子 アバンティ(株)代表取締役会長

監事

行方一正 株式会社ピーストラベルプロジェクト、元(株)エイチアイエス代表取締役専務

# I. 普及啓発事業（公益事業1）

## 1)趣旨

現在の日本は、社会課題先進国と言われて久しく、人口減少、少子化、高齢化、地方の過疎化、自治体の財政難などが深刻化しているが、当法人では主に以下の2点が課題であると考えている。

- ①上記のように社会課題が混在する現在の日本において、将来のビジョンが描きづらいこと
- ②学校教育において「事業」や「起業」、「仕事」に対する学びの場が著しく少ないこと

上記課題の解決策として、次の3つの段階が必要だと考える。

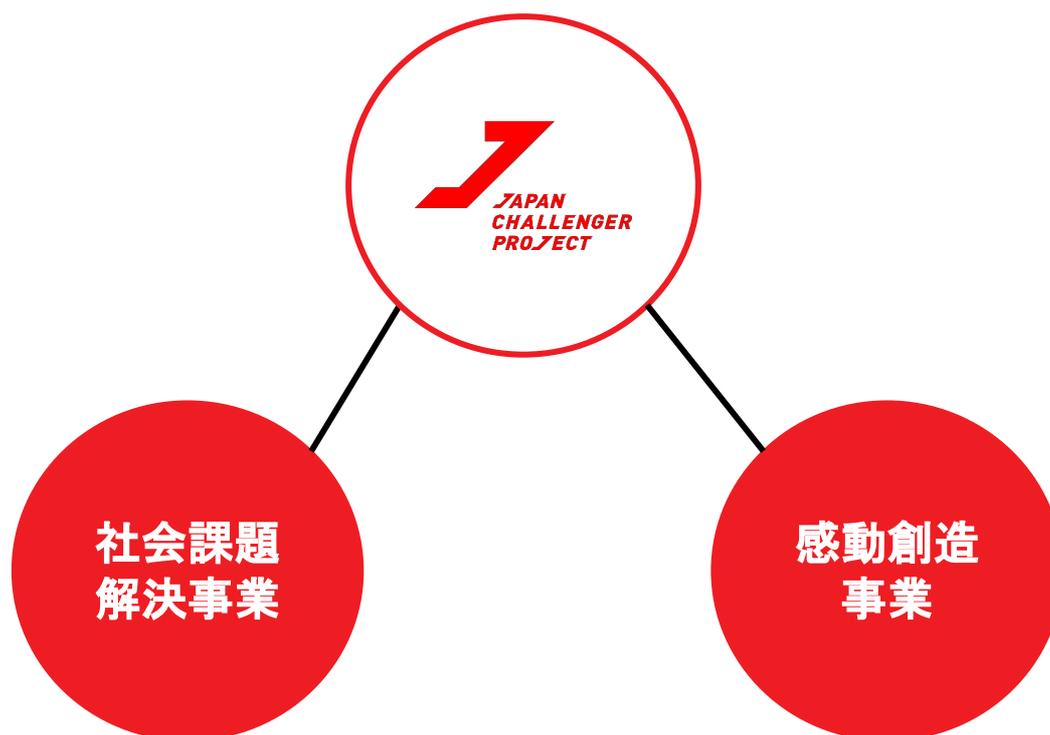
- ①ビジョンを持つこと
- ②そのビジョンを基に、実現のためのグランドデザインを描くこと
- ③起業家を、サポート、マネジメント、プロデュースする体制があること

当法人は、このような背景に鑑みて、社会の活性化を図るには、地域の活性化が重要であると考え、改めて各地方の現状を検討した。現在の地方には地産地消に加えて、観光、ビジネス等の地産地商の原石がある。その原石である地域の起業家(当法人では「チャレンジャー」と呼ぶ。)が力を発揮し、描いた事業で地方を活性化してゆくために、当法人は「彼らをいかに磨き上げるか」が重要であると考え。そこで、上記解決策を念頭に、チャレンジャーに経営の「ミッション・ビジョン・戦略」を学んでもらい、彼らが描いたビジネスプランを起業する地域の人々に対して発表し、「共感・賛同・協力」を得られるような事業に育ててゆく。当法人は、このように「発掘」「育成」「発表」「事業」という体系的な体制を構築して地方創生に取り組むことが社会を豊かにすると考え、活動してきた。



## 2) 事業の内容

現在の経済活動では、社会課題に取り組む事業と、顧客に感動や驚きの体験を与える事業の両方が必要とされている。そこで、当法人では、社会課題解決事業と感動創造事業を融合した新しい事業アイデアを構築し、公民連携による地方創生事業に取り組む。



これまでも多くの起業家たちが、自分の事業モデルと目の前にある「問題」を結び付けてチャレンジしてきたが、当法人では、起業家たちが挑戦できる環境を作り、育成、サポートすることで、「経済活性化」と「地域課題解決」を両立させ、持続可能な社会を作り出すことに寄与できると考える。

また、地域におけるプロジェクトの立案、計画、実施等を支援するために、そのプロジェクトメンバーの能力開発のためのセミナーを開催し、できる限り事業に関与するサポートを行う。本事業は、国、地方自治体や各種団体からの委託も受けることとする。

## 1. セミナー事業

当法人のセミナーは、参加対象を一般と、「JAPAN CHALLENGER AWARD」に登壇するチャレンジャー向けに分けて開催する。募集は、ホームページやチラシで広く公募する。セミナーの内容は、「ローカルビジネスについて」、「起業するためのミッション、ビジョン、戦略立案」などに関する内容で開催する。講師は各界の専門家で構成した。

### ① 一般向けセミナー

地域起業家や地域住民、またその地域で起業したい方に向け、自治体の広報活動、地元商工会議所の既存プログラムと連携しながら、「起業に向けたビジネスモデルの構築の仕方」「事業予算・事業計画の立て方、企画書の書き方」「収益モデル」の勉強会を行った。主任講師は当法人の代表理事が行い、ゲスト講師として理事やJAPAN CHALLENGER レジェンド(実績のある地域起業家)を招いて開催した。開催数は20回、参加人数はのべ258名となった。

### ② チャレンジャー向けセミナー

一般向けセミナーや地元商工会議所から推薦され、JAPAN CHALLENGER AWARD の発表者(チャレンジャー)が決定すると、発表に向けてのブラッシュアップセミナーを開催する。具体的なプログラムは、「ビジネスモデル、収益モデルのブラッシュアップ」「プレゼンテーションの資料の作成の仕方」「プレゼンテーションの方法」について実施した。主任講師は当法人の代表理事が行った。開催数は18回、参加人数はのべ106名となった。



輪島でのセミナー開催時の広報画像

# 地方創生の普及啓発を行う事業

## ①一般向けセミナー

### ■四條畷市(大阪府) 開催数4回 のべ33名参加

9月7日(土) 四條畷市役所 14名 ビジネスモデル・収益モデルの作り方

講師 代表理事 中川直洋

講師 JAPAN CHALLENGER レジェンド 木戸俊介(ポジティブに生きる)

9月28日(土) 四條畷市役所 委員会室 7名

セミナー発表

代表理事 中川直洋

四條畷市商工会事務局長の中川英司氏

枚方信用金庫忍ヶ丘支店支店長の新屋道幸氏

大阪を変える100人会議特別顧問の施治安氏

10月13日(日) ブラッシュアップセミナー 四條畷市役所 6名

講師代表理事 中川直洋

11月12日(火) 四條畷市役所 個別ブラッシュアップ 6名

講師 代表理事 中川直洋

### ■熊本市(熊本県) 開催数4回 のべ88名参加

9月12日 はあもにい 37名 2階学習室

講師 代表理事 中川直洋 理事 渡邊智恵子

9月13日 はあもにい 37名 2階学習室

講師 代表理事 中川直洋

11月5日 webセミナー 7名

講師 代表理事 中川直洋

11月14日 チャレンジャーブラッシュアップセミナー 7名 びぶれす熊日会館

講師 代表理事 中川直洋

### ■小諸市(長野県) 開催数2回 のべ30名参加

10月26日(土) 小諸市商工会議所 15名

講師 代表理事 中川直洋、

講師 理事 渡邊智恵子

講師 田澤麻里香JAPAN CHALLENGER レジェンド

10月27日(日) 小諸市交流センター ビジネスモデル・収益モデルの作り方 15名

講師 代表理事 中川直洋

### ■飯綱町(長野県) 開催数2回 のべ22名参加

12月12日(土) 事業モデルセミナーイコネEAST チャレンジラボ 11名

講師 代表理事中川直洋

12月13日(日) 事業モデルセミナーイコネEAST チャレンジラボ 11名

講師 代表理事中川直洋

### ■銚子市(千葉県)、開催数1回 のべ15名

2月8日(土) 銚子市役所 15名参加 ビジネスモデル・収益モデルの作り方

講師 代表理事中川直洋

### ■伊豆地区(静岡県) 開催数4回 のべ20名

11月16日(土) 道の駅開国下田みなと 4階 第2会議室 5名

講師 代表理事 中川直洋 事務局 大浦佐和

11月17日(日) 伊豆の国市韮山文化センター研修室 5名

講師 代表理事 中川直洋 事務局 大浦佐和

12月21日(土) 伊豆の国市韮山文化センター研修室 5名

講師 代表理事 中川直洋

12月22日(日) 道の駅開国下田みなと 4階 第2会議室 5名

講師 代表理事 中川直洋 事務局 大浦佐和

※上記は、一般の部(地域おこし協力隊メンバー参加)と高校生と一部合同プログラムとして参加  
高校生の生徒数は含まれていない。公益二のワカモノ支援で記載。

### ■輪島市(石川県)、開催数3回 のべ50名

10月24日(木) 輪島市民文化会館302号室 20名参加 ビジネスモデル・収益モデルの作り方

講師 代表理事 中川直洋

11月7日(木) 輪島市民文化会館302号室 10名参加 ビジネスモデル・収益モデルの作り方

講師 代表理事 中川直洋

11月24日(日) 東京都グリッドグループ会議室20名参加 ビジネスモデル・収益モデルの作り方

講師 代表理事 中川直洋

## ②チャレンジャー向けセミナー

### ■四條畷市(大阪府) 開催数3回 18名参加

10月13日(日) ブラッシュアップセミナー 四條畷市役所 6名 講師代表理事 中川直洋  
11月12日(火) 四條畷市役所 個別ブラッシュアップ 6名 講師 代表理事 中川直洋  
11月29日(金) 四條畷市民ホール 発表向けセミナー 6名 講師 代表理事 中川直洋

### ■熊本市(熊本県) 開催数2回 14名参加

11月14日 チャレンジャーブラッシュアップセミナー 7名 びぶれす熊日会館  
講師 代表理事 中川直洋  
12月7日 チャレンジャーブラッシュアップセミナー7名 熊本市中央公民館  
講師 代表理事 中川直洋

### ■小諸市(長野県) 開催数3回 のべ21名参加

1月18日(土) 小諸市交流センター ブラッシュアップセミナー 7名  
講師 代表理事 中川直洋  
1月19日(日) 小諸市交流センター ブラッシュアップセミナー 7名  
講師 代表理事 中川直洋  
2月9日(土) 小諸市交流センター ブラッシュアップセミナー 7名  
講師 代表理事 中川直洋

### ■飯綱町(長野県) 開催数5回 のべ21名参加

1月16日(土) ブラッシュアップセミナー 飯綱中学校 7名  
講師 代表理事 中川直洋  
1月17日(日) ブラッシュアップモデルセミナー 飯綱中学校 7名  
講師 代表理事 中川直洋  
2月6日(土) ブラッシュアップセミナー 飯綱中学校 7名  
講師 代表理事 中川直洋

### ■銚子市(千葉県)、開催数2回 のべ7名

2月16日(日) 銚子市商工会議所 7名参加 ブラッシュアップセミナー  
講師 代表理事 中川直洋

### ■輪島市(石川県) 開催数1回 7名

1月16日(木) 輪島市役所 7名参加 ブラッシュアップセミナー  
講師 代表理事 中川直洋

### ■伊豆地区(静岡県) 回数2回 のべ18名参加

2月11日(火) 伊豆の国市韮山文化センター研修室9名  
講師 代表理事 中川直洋  
2月22日(土) 伊豆の国市韮山文化センター研修室 ブラッシュアップセミナー 9名  
講師 代表理事 中川直洋

## 2.アワード事業



### 【趣旨及び内容】

チャレンジャーの地域事業実現に向けて、各地で「JAPAN CHALLENGER AWARD」を開催する。

参加者はホームページやチラシで募集する。各地域ごとに書類選考、面接選考後、最終的にイベント(AWARD)でプレゼンテーションを行い、審査委員と来場者が審査しグランプリを決定する。

また当法人の所在地である鎌倉で開催する「JAPAN CHALLENGER AWARD」は、地方で開催する「JAPAN CHALLENGER AWARD」のグランプリや推薦者が出場し、ジャパンチャレンジャーグランプリを決め、表彰する。開催数は6か所、チャレンジャー41名 参加人数は795名となった。詳細は以下の通り。

### 【応募資格】

年齢不問。地方で起業や第二の創業、新規事業立ち上げを検討している地方企業の経営者・個人・学生等。

### 【選考プロセス】

勉強会参加 or 書類選考

(地域によって異なりますが、開催4ヶ月前程度に募集→3ヶ月前に選考・審査・通知となります。)

選考プロセス



選考を通過したジャパンチャレンジャーは以下のステップを踏んで発表します。

#### ステップ1

各地域で主催する「JAPAN CHALLENGER SEMINAR」で講義を受けます。  
ここではご自身のしたい事業や仕事を見つけ、事業モデルを構築し、そして収益モデルまで落とし込みます。

#### ステップ2

JAPAN CHALLENGER AWARD選考委員の前で発表いただき、ジャパンチャレンジャーを選考します。  
※地域によっては書類選考の場合もあります。

#### ステップ3

選ばれたジャパンチャレンジャーは、専門家の指導を受け、事業モデルをさらに磨きをかけブラッシュアップを行います。  
ここでは収益モデルについて最終確認を行ったり、当日発表のためのパフォーマンス指導も行います。

# JAPAN CHALLENGER AWARD in 四條畷

## 【趣旨】

地域の課題をビジネスで解決するソーシャルビジネスアイデアを持った起業家たちによるビジネスプランプレゼンテーションと、その夢を応援したい地域の企業とのビジネスマッチングを行い、さらにサポート企業、審査員、参加する観覧者からの投票でグランプリも決定します。

## 【日時】

2019年11月30日(土) 13:00-16:00

【入場料】無料

【参加者】250人

## 【会場】

四條畷市市民総合センター

(大阪府四條畷市中野3丁目5-25)

## 【主催】

JAPAN CHALLENGER AWARD in 四條畷実行委員会

(四條畷市、四條畷市商工会、枚方信用金庫)

## 【共催】

一般社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト

## 【協賛】

枚方信用金庫、株式会社官民連携事業研究所、株式会社ジェイコムウエスト北河内局、堀産業株式会社、面白法人カヤック、グリッドグループホールディングス株式会社、上村金網工業株式会社

## 【協力】

四條畷市商工会、枚方信用金庫

## 【参加学校】

四條畷高校、四條畷学園高校

## 【チャレンジャー】

グランプリ 島田丁花さん(地元食材を使った地球と人に優しい食堂)

準グランプリ白井莉奈さん(キッチンカーおにぎり屋で”ごはん”から”幸福”を@四條畷)

兵頭昂樹さん(四條畷を食のテーマパークへ)

寺島繁子さん(我等青春、元気で楽しく100歳へ)

橘美沙さん(畷ブランドの構築について～四條畷を日本一PR力のある街にするために～)

勝山浩二さん(coworking/colanig space 働くと学ぶが交差する場所)

## 【その他プログラム】

四條畷高等学校軽音楽部特別プログラム

四條畷高等学校 四條畷学園高等学校 発表

特別企画 東市長と面白法人カヤック代表柳澤氏の対談・トークセッション

サンタクライス大試食会(四條畷高等学校、四條畷学園高等学校)

協賛企業との名刺交換会



# くまもとチャレンジャーアワード2019

## 【趣旨】

地域の課題をビジネスで解決するソーシャルビジネスアイデアを持った女性によるビジネスプランプレゼンテーションを行い、最高のプレゼンターには事業支度金(グランプリ・準グランプリ)が与えられ、企業のサポートが受けられる地方創生ビジネスコンテスト。

## 【日時】

2019年12月8日(日) 13:00-16:00

## 【入場料】無料

## 【参加者】150人

## 【会場】熊本市中央公民館

【主催】くまもとチャレンジャーAWARD プロジェクト  
(ミュージックプランニング、熊本日日新聞社)、一般社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト

## 【後援】

熊本県、熊本市、熊本商工会議所、熊本県商工会連合会、熊本放送、テレビ熊本、熊本県民テレビ、熊本朝日放送、NHK熊本放送局

## 【協賛】

株式会社レイメイ藤井、株式会社日本コンピュータ開発、熊本中央信用金庫、大塚製薬株式会社 ポーラ熊本ゾーン、アマカタテラ、RKK 熊本放送、高橋酒造、熊本第一信用金庫、社会福祉法人照敬会、株式会社マリーゴールドホールディングス、株式会社きらりコーポレーション、株式会社エージェンツ、はあもにい管理運営共同企業体、Fine プロデュース、藤田香織税理士事務所、株式会社 StudioSURFACE、税理士法人さくら優和パートナーズ、富士ゼロックス株式会社、崇城大学、くまもと笑いヨガ倶楽部、株式会社コロバス、中野恵一さま(恵荘グループ)、女性起業家支援おりなす、有限会社ミュージックプランニング、株式会社熊本日日新聞社

## 【制作企画・運営】

くまもとチャレンジャーAWARD プロジェクト運営委員会、一般社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト

## 【チャレンジャー】

グランプリ:植村真穂さん 愛犬を家族のように愛する方へ安心安全な手作りご飯とおやつ製造販売  
準グランプリ:葛西江美さん 子どもがいるから諦める、をなくしたい。パパ・ママの子育て不安と不満を解消する「保育園レストラン」事業  
豊田直子さん 妊娠・出産・育児をトータルサポートできる ママとベビー専門のヘルスケアサロン  
窪田治美さん ダンス(芸術)を通して、子供には夢を、笑顔、表現力を女性のママには、リフレッシュを、人とのつながりを届けていく  
東濱博子さん 地域食材と料理人と食卓を繋ぐ働くママ応援団  
神田みゆきさん キャリア教育支援センターを熊本につくろう！  
オオハシ益由規律さん HAPPY PARKプロジェクト & ハレノヒプロジェクト

## 【審査員】

審査委員長 木村正明氏(公益財団法人地方経済総合研究所専務理事)  
審査員 垂見和子氏(熊本商工会議所女性会副会長)  
井上俊哉氏(株式会社レイメイ藤井専務取締役)  
真田由紀子氏(熊本県男女参画・協働推進課長)  
古賀 碧氏(株式会社 Ciamo 代表取締役/第1回 AWARD グランプリ)  
渡邊智恵子氏(一般社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト理事)

## 【司会】

荒木直美

## 【その他プログラム】

プログラム(4 演出、スペシャルパフォーマンス)  
オープニングパフォーマンス  
中間ダンスパフォーマンス  
前ファイナリストスピーチ(古賀さん)  
投票パフォーマンス・チャレンジャーインタビュー  
前ファイナリストトーク(原田さん)



# いろいろな事業チャレンジ

## 【趣旨】

地域の課題をビジネスで解決するソーシャルビジネスアイデアを持った起業家たちによるビジネスプランプレゼンテーションと、その夢を応援したい地域の企業とのビジネスマッチングを行い、さらにサポート企業、審査員、参加する観覧者からの投票でグランプリも決定します。

【日時】2020年2月2日(日) 13:00-16:00

【入場料】無料

【参加者】100人

【会場】飯綱町民会館(長野県上水内郡飯綱町大字牟礼1989)

【主催】いろいろな事業チャレンジ実行委員会(いろいろなフューチャースクール(飯綱町))

【共催】一般社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト

【協賛】株式会社サンクゼール、株式会社アバンティ、長野信用金庫、株式会社八十二銀行、株式会社カンマッセいろいろな、有限会社飯綱町ふるさと振興公社、オーガニックリゾート株式会社、株式会社ツチクラ住建、ながの農業協同組合飯綱支所、

株式会社シンカ、凸版印刷株式会社

【協力】株式会社シンカ、凸版印刷株式会社

【参加学校】北部高等学校、飯綱中学

【運営】一般社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト

## 【チャレンジャー】

グランプリ 藤原奈緒美さん( Good Appleで乾杯!「いろいろなフェス2025」)

準グランプリ 瀬戸山 匠さん(家族の絆が深まる朝食「野菜のキャンパス」を飯綱町から)

田中 洋満さん(日本初のブッシュクラフトフィールド・奈良本を人が集まる場所に!)

鈴木 直子さん(飯綱町の魅力とお餅をキッチンカーにのせて届けます!)

外谷 淳弥さん(飯綱町・奈良本でシードル体験プログラムを提供します!)

松木 靖さん(日本一元気な町「いろいろな」プロジェクト)

## 【審査員】

審査員長 久世良太 サンクゼール代表取締役社長

審査員 渡邊智恵子 一般社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト理事

審査員 山本晃 長野信用金庫 地域みらい本部長

審査員 峯村 勝盛氏 飯綱町長

審査員 新村 雄太氏 株式会社八十二銀行 法人部 調査役

## 【司会】

沢井美和さん

仲木威雄さん(一般社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト理事)

## 【その他プログラム】

オープニング～ダンスグループ(GROOVE)～ファイナリスト登場

特別プログラム 飯綱中学校・北部高等学校 発表(JPX起業体験プログラム)

協賛企業との名刺交換会



# JAPAN CHALLENGER AWARD in 小諸

## 【趣旨】

地域の課題をビジネスで解決するソーシャルビジネスアイデアを持った起業家たちによるビジネスプランプレゼンテーションと、その夢を応援したい地域の企業とのビジネスマッチングを行い、さらにサポート企業、審査員、参加する観覧者からの投票でグランプリも決定します。

## 【日時】

2020年2月9日(日) 13時-16時

## 【入場料】無料

## 【参加者】200人

## 【会場】小諸市民交流センター(小諸市相生町3丁目3番3号)

## 【主催】JAPAN CHALLENGER AWARD in 小諸実行委員会、小諸市、小諸商工会議所、こもろ観光局

## 【共催】一般社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト

## 【協賛】(株)ユウワ、小諸市金融団(八十二銀行代表)、のぞみグループ、マルイ産業(株)、(株)コミヤマ

## 【参加学校】小諸商業高校、小諸高校

## 【運営】JAPAN CHALLENGER AWARD in 小諸実行委員会、一般社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト

## 【協力】小諸市商工会 こもろケーブルテレビ

## 【参加学校】小諸高校、小諸商業高校

## 【チャレンジャー】

グランプリ 田中 由希さん「花嫁さんがママになってもいきいきと輝ける押花」

準グランプリ 土屋 博昭さん(小諸市中の子供を毎日笑顔にする男)

櫻井憲次さん「自然共存型のアウトドアパークを作り、地域を活性化させたい」

依田 和弘さん「～日本一の味噌汁のある街 小諸～」

山田 久美さん「子供の夢を応援！ ころとゆとりの教育にやさしい街作り」

深山 直樹さん「地域共生型拠点『みんなの家、タブノキ』を作ります。」

高地 仁美さん「住む人も訪れた人もストレスフリーに！ 情報発信基地・癒しミルクホール」

## 【審査員】

審査員長 佐藤英人 小諸商工会議所 副会頭 エイワ税理士法人 代表社員

審査員 花岡 隆 一般社団法人こもろ観光局 理事長

審査員 黒澤 正幸 八十二銀行 小諸支店 支店長

審査員 渡邊智恵子 一般社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト 理事

## 【司会】

後藤理恵さん

## 【その他プログラム】

特別プログラム 小諸高校邦楽部～チャレンジャー登場

小諸商業高等学校 ビジネスアイデア発表、市長コメント

佐久サムライさん、過去チャレンジャーの今

一汁一菜が振舞い 鴨川知征さん 清水隆利さん

名刺交換会



## 3-7.JAPAN CHALLENGER AWARD in 銚子

### 【趣旨】

地域の課題をビジネスで解決するソーシャルビジネスアイデアを持った起業家たちによるビジネスプランプレゼンテーションと、その夢を応援したい地域の企業とのビジネスマッチングを行い、さらにサポート企業、審査員、参加する観覧者からの投票でグランプリも決定します。

【日時】2020年3月1日(日)13:00-15:20

【入場料】無料

【参加者】一般参加なし(関係者35名)

【会場】保健福祉センター(千葉県銚子市若宮4-8)

【主催者】JAPAN CHALLENGER AWARD in 銚子実行委員会(銚子市、銚子商工会議所、銚子信用金庫、銚子商工信用組合、千葉科学大学、一般社団法人銚子市観光協会、千葉県立銚子商業高等学校、一般社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト)

【後援】千葉県、日本政策金融公庫千葉支店、銚子電気鉄道株式会社

【協賛】ヤマサ醤油株式会社、銚子信用金庫、銚子商工信用組合、株式会社アイテック、株式会社大勝・犬吠テラステラス、銚子商工会議所、株式会社レイメイ藤井、株式会社ゴーゴーカレーグループ、NIPPON ITチャリティ駅伝

【参加学校】なし

【運営】一般社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト

【チャレンジャー】

グランプリ 中野剛さん「地域資源の活用も視野に入れた経産和牛肉商品化事業」

準グランプリ 飯田訓文さん「銚子メロンを活用した地域商社」

和泉大介さん「銚子で人力車を！！」

宇野澤彩加さん「キャベツでご当地化粧品」

多辺田貴大・滑川貴洋さん「共有価値の創造」

石毛麻里子さん「輝く女性があふれる未来に！農家カフェの贅沢ランチ」

【審査員】

野口光男氏 銚子商工会議所 副会頭

淵岡彰介氏 ヤマサ醤油株式会社 取締役 経理・総務本部長

根本正志氏 公益財団法人 千葉県産業振興センター 常務理事兼新事業支援部長

宮本 和志氏 日本政策金融公庫千葉支店 国民生活事業 統轄

堀本政夫氏 千葉科学大学 副学長

仲木威雄氏 一般社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト 理事

【司会】

佐久間快枝さん



# IZU CHALLENGER AWARD 2020

## 【趣旨】

地域の課題をビジネスで解決するソーシャルビジネスアイデアを持った起業家たちによるビジネスプランプレゼンテーションと、その夢を応援したい地域の企業とのビジネスマッチングを行い、サポート企業、審査員、参加する観覧者からの投票でグランプリも決定します。

【日時】2020年3月21日(土)13:00-16:00

【入場料】無料

【参加者】一般参加なし(関係者60名)

【会場】伊豆の国市葦山文化センター大ホール(静岡県伊豆の国市四日町772)

【主催】IZUCHALLENGER AWARD実行委員会/静岡県/(一社)美しい伊豆創造センター/(一社)伊豆半島創造研究所/下田商工会議所/沼津商工会議所/三島商工会議所/熱海商工会議所/伊東商工会議所/沼津市商工会/河津町商工会/東伊豆町商工会/南伊豆町商工会/松崎町商工会/西伊豆町商工会/伊豆市商工会/伊豆の国市商工会/函南町商工会

【協力】(一社) JAPAN CHALLENGER PROJECT

【後援】沼津市/三島市/伊豆市/函南町/伊豆の国市/熱海市/伊東市/東伊豆町/河津町/下田市/南伊豆町/松崎町/西伊豆町NHK静岡放送局/静岡第一テレビ/静岡朝日テレビ/静岡新聞社・静岡放送/テレビ静岡/伊豆新聞/東京証券取引所

【運営】一般社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト

## 【チャレンジャー】

地域おこし協力隊部門グランプリ 篠沢亜美さん「外国人向けフィルムツーリズム」

高校生部門グランプリ ふぁーみんずさん「農家応援カフェ体験型・選べるお茶漬けcafe」

井出朋花さん、鈴木愛香さん、信夫杏菜さん

実行委員特別賞 須田萌子さん「コスプレで活気づける伊豆のイベント」

松本直也さん

菊地美瑚さん

寺田健悟さん

青山沙織さん

## 【審査員】

大橋 弘氏 静岡銀行常務執行役員

高嶋 正芳氏 三島信用金庫・常務理事

山田 文香氏 マックスバリュー東海(株)・マネージャー

森田 創氏 東急株式会社・次世代インフラ担当課長

藤野 英人 一般社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト 理事長

## 【司会】

渡部智史さんさん、鈴木真樹さん

## 【その他プログラム】

マルシェ報告、パネルディスカッション(松原佳美さん)



2019年3月に予定していましたJAPAN CHALLENGER AWARD in輪島は、コロナ感染対策で延期しました。

## 【エントリー開始のお知らせ】

2019年11月08日 /

「JAPAN CHALLENGER AWARD in 輪島」のエントリーがスタート！



石川県輪島市で開催される「JAPAN CHALLENGER AWARD in 輪島」のエントリーがスタートしました！輪島で事業にチャレンジしたいという想いをもちあなた！3月に開催される「JAPAN CHALLENGER AWARD in 輪島」にエントリーしてみませんか？

日時：2019年12月13日（金）18：00～

場所：輪島市文化会館3階302号室

実施内容：事業に関するプレゼン（7分）事前に提出資料として、7分のプレゼンで用いるパワーポイントを提出いただきます。（プレゼン及び提出資料については再度、詳しい内容をご連絡します。）

## 【延期のお知らせ】

2020年03月03日 /

JAPAN CHALLENGER AWARD in 輪島 開催延期のお知らせ



この度、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、3月8日（日）に予定されていた『JAPAN CHALLENGER AWARD in 輪島』開催の延期を決定いたしました。

延期時期につきましては4月以降、関係者と調整し、また皆様にご連絡したいと思っております。実行委員会では、参加者および関係者の皆様の安全確保を最優先とし、今後も感染拡大状況を注視しながら、対応を検討・実施してまいります。開催間近のご連絡となりましたが、何卒ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

### 【お問い合わせ先】

『JAPAN CHALLENGER AWARD in 輪島』実行委員会  
事務局 担当：株式会社百笑の暮らし 山本 亮（やまもと りょう）  
MAIL：info@satoyamamarugoto.com  
電話：0768-26-1181

# いざ鎌倉！ JAPAN CHALLENGER AWARD 2020

2020年5月に予定しておりました、いざ鎌倉！地方創生の祭典！～JAPAN CHALLENGER AWARD 2020～は、コロナ感染対策で延期しました。

## 【応募締め切りのお知らせ】

2020年01月09日 / events news

【応募は締め切りました】プレゼンター募集！！いざ鎌倉！地方創生の祭典～JAPAN CHALLENGER AWARD 2020～



今年2020年5月17日に開催する「いざ鎌倉！地方創生の祭典～JAPAN CHALLENGER AWARD 2020～」のプレゼンターを募集いたします！

いざ鎌倉！地方創生の祭典～JAPAN CHALLENGER AWARD 2020～とは全国規模の地方創生ビジネスマッチングイベント。

## 【延期のお知らせ】

2020年02月27日 /

新型コロナウイルス感染拡大に伴う対応について



一般社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクトでは、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、3月控えていた銚子市・輪島市・伊豆市でのイベントの縮小開催・延期を実施いたします。4月以降は通常どおり開催を予定していますが、今後の状況をふまえて対応をお知らせしていきます。なお5月17日「いざ鎌倉JAPAN CHALLENGER AWARD 2020」は、開催する予定でございますが、今後の状況をふまえて対応をお知らせしていきます。チケット販売は3月中旬を予定しております。

### 【銚子市・伊豆市】

一般観覧者の入場を中止し、関係者のみの開催となります。チャレンジャーの発表は動画にて後日各ケーブルテレビ・市役所の運営するメディア・当社のwebサイトを通じて発信いたします。

### 【輪島市】

現在実行委員会と延期を視野に入れながら調整・検討を行っております。

## 3.起業のための支援事業

「JAPAN CHALLENGER AWARD」終了後、起業にチャレンジしようとしているすべての人たちの励みや目標となるように、当法人はジャパンチャレンジャー(鎌倉でのグランプリ受賞者)及びローカルチャレンジャー(地方でのグランプリ受賞者)の事業モデルが実現するように伴走している。

### 起業のための支援事業について

#### ①四條畷市チャレンジャー

島田丁花さん「地元食材を使った地球と人に優しい食堂」 食堂まばたきを視察し、経営やコロナ対策などのアドバイスをさせていただきました。

#### ②熊本市チャレンジャー

4月にズームにてミーティングを実施。チャレンジャーの現場報告とアドバイスをさせていただきました。

#### ③飯綱チャレンジャー

瀬戸山匠さん 個別にアドバイス(今後の商品化に向けての具体的なサポート)をさせていただきました。

#### ④小諸チャレンジャー

田中由希「花嫁さんがママになってもいきいきと輝ける押花」を開業されたので、それに対してのアドバイスを行いました。

#### ⑤伊豆チャレンジャー

篠沢亜美さん(外国人向けフィルムツーリズム) 地域おこし協力隊でもある篠沢さんと町職員、スタッフを交え「個別アドバイス」を実施しました。コロナ禍におけるフィルムツアーについてアドバイスを行いました。

## 4.書籍等の頒布事業

当期間は書籍制作期間でございます。2期目にあたる8月に発行することになりました。今後セミナーやアワード等で実施します。

(発行予定書籍)

地方での起業こそが、最強のビジネスモデルである!

公益社団法人  
ジャパンチャレンジャープロジェクト  
代表理事  
中川直洋

地方  
起業  
の  
教科書

\ 首都圏依存はもう古い! /

田舎で稼ぐ新しい働き方

東京中心の時代はもう終わった

ひふみ投信  
藤野英人氏

面白法人カヤック  
柳澤大輔氏

"リビング・シフト"の時代がやってくる

小さなコストで大きな利益が得られる"地方起業"で  
必要な考え方から経営計画の立て方まで

あさ出版

## Ⅱ.若者への支援事業 (公益事業2)

# 地方創生の普及啓発を行う事業

## 1) 趣旨

先に述べた通り、現在の日本は、社会課題先進国と言われて久しく、少子化、高齢化、地域の過疎化など課題が深刻化している。このような社会状況を打開するためには、まず地方の活性化が重要であると考えます。

地方に目を向けたとき、地方創生の主役になるべきは、地元の若者をおいて他にはない。地元で育ち、地元で働き、起業するという事は、昔であればごく自然なことだったが、高度経済成長期からは、地方は工場誘致と一部観光地として栄え、若者は都心に集中した。

しかし、地方には地産地商の原石が多数ある。原石を地元の中・高生に知ってもらい、それらの良さを活かしたビジネスモデルの作り方を学び、形にしてもらう。「自分たちの力で地域を元気にしたい、元気にできる。」という意識を育み、醸成させ、地方創生につながるムーブメントを創出してゆく。

## 2) 事業の内容

(株)日本取引所グループが取組んでいる「起業体験プログラム」を採用し、中・高・大生を対象に、起業体験のセミナーを行う。当該セミナーで磨き上げたビジネスモデルは「中・高・大生：JAPAN CHALLENGER AWARD」を開催し発表する。公1の「全国大会：JAPAN CHALLENGER AWARD」の会場では、体験をしたビジネスモデルのブースを出展する。

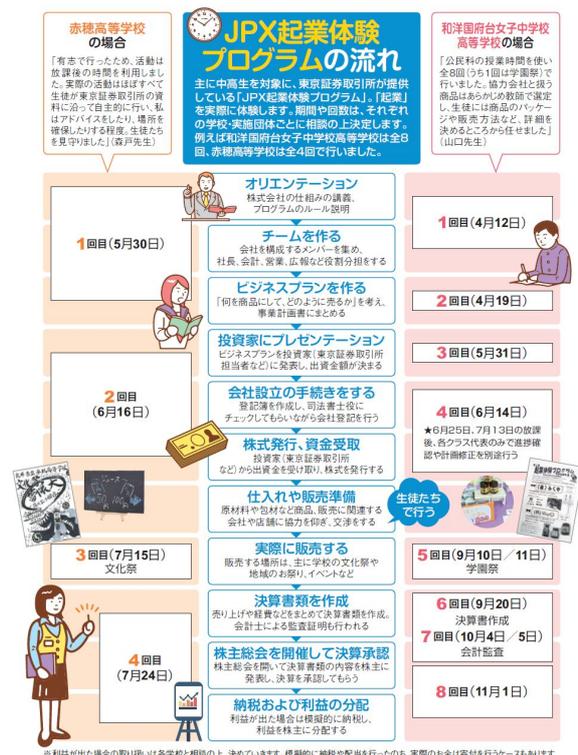
## セミナー事業

セミナーは、中・高・大学生を対象に、(株)日本取引所グループが取組んでいる「起業体験プログラム」を基に行う。

### <起業体験プログラムの流れ>

参加者である中・高・大学生は、チームでビジネスアイデアを考え、投資家に対してプレゼンテーションを行い、出資を受けて株式会社を作る。株式会社の経営者として、地域のお祭りや学園祭などを舞台に、来場しているお客様に向けて、模擬店のビジネスを行う。販売活動の終了後は、決算書(貸借対照表と損益計算書)を作成し、監査を受ける。株主総会で決算内容を発表し、税金を支払った後に株主に分配をして会社を解散する。

参加者の募集は、ホームページやチラシで広く公募した。開催数は11回、参加人数はのべ273名となった。



## 学生向けセミナー

■伊豆地区、回数6回 受講生参加者数 のべ159名  
セミナー高校生26組49名、JPX東証セミナー高校生6組22名  
11月16日(土) 道の駅開国下田みなと 4階 第2会議室 30名  
講師 代表理事 中川直洋 事務局 大浦佐和  
11月17日(日) 伊豆の国市葦山文化センター研修室 19名  
講師 代表理事 中川直洋 事務局 大浦佐和  
12月21日(土) 伊豆の国市葦山文化センター研修室 30名  
講師 代表理事 中川直洋  
12月22日(日) 道の駅開国下田みなと 4階 第2会議室 19名  
講師 代表理事 中川直洋 事務局 大浦佐和  
1月12日(日) 三島商工会議所 22名  
講師 東京証券取引所 森元憲介  
講師代表理事 中川直洋・仲木威雄 事務局 大浦佐和  
2月11日(火) 伊豆の国市葦山文化センター研修室 20名  
講師 代表理事 中川直洋

■輪島市 開催数2回 のべ40名参加  
12月13日(金) 石川県立輪島高等学校 15名  
講師 代表理事 中川直洋  
1月16日(木) 石川県立門前高等学校 25名  
講師 事務局 大浦佐和

■四條畷市 開催数2回 のべ35名参加  
10月1日(金) 四條畷学園高等学校 事業セミナー 15名  
講師 代表理事 中川直洋  
11月12日(火) 四條畷高等学校 事業セミナー 20名  
講師 代表理事 中川直洋

■小諸市 開催数1回 のべ39名参加  
1月20日(月)小諸商業高等学校 事業セミナー 39名  
講師 代表理事 中川直洋

## 2.アワード開催事業

- 日時:2019年11月3日(日曜日)  
12:00~17:00(16:00~17:00は交流会)
- 場所:ひとつくりホール  
(大阪府大阪市淀川区木川西2丁目2-5 三和ビル)
- 規模:約110名(学生100名・社会人10名)
- 参加費:1000円(交流会の飲食費を含む)
- 参加:97名(学生77名+協賛企業・ゲスト13名  
+パフォーマー・プレゼンター7名)
- 主催:一般社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト
- 協賛:恩地食品株式会社、三和建設株式会社、株式会社ゴーゴーカレーグループ  
キャリア美人株式会社、株式会社賢者屋、株式会社サポーターズ
- 内容:企業ブース・学生に4名による夢のプレゼンテーション  
学生サークルによるパフォーマンス・トークセッション・社会人を含む学生交流会



### 【チャレンジャー】

濱田 祐太さん(グランプリ)

株式会社ローカルフラッグ 代表取締役 1996年生まれ。京都府与謝野町出身。高校生のときから、地元丹後の活性化を志し、大学入学後は、地方議員の事務所にてインターンシップを行う。その経験から政治ではなくビジネスで地域課題の解決に取り組みたいと考えるようになり、大学2年生のときから、地元のNPO法人TEAM且波にて大学生のインターン受け入れ事業や、都市部人材と地域企業の兼業マッチング「ふるさと兼業」などを行う。2019年には、(株)ローカルフラッグを立ち上げ、京都府与謝野町を軸に、若者によるチャレンジ(起業・事業承継等)を促進して、地域の雇用や地域課題解決につなげるべく挑戦中。

松葉 琉我さん

夢中が見つかる学習教室「Kids Lab.」で10年後に役立つスキル学習教育や立命館大学と共同でアクセラレータープログラムの開発などを行う。Kids Lab.やアクセラレータープログラムを通して関西の子供・学生がスタートアップや課題解決に興味を持てる環境やその後に仲間や資金などをスムーズに獲得できる環境づくりなどを行なっている。

山口 真由さん

大阪府立夕陽丘高等学校 3年生 2001年生まれ。大阪府出身。日本経済大学主催2018年高校生未来開発ビジネスアイデアコンテストで最優秀賞を受賞後、株式会社BOUQUET LAB(ブーケラボ)設立。現在は株式会社BOUQUET LAB代表取締役として学生に『働く』を伝えるためのイベントとして学生が審査員の企業説明会イベント『BOUQUET AWARD』のプロデュースをしている。また、株式会社MOVEDのプロモーションマネージャーとしてイベント運営、新規事業を担当。

平田 英聖さん

大和大学3回生 大学1回生の時に参加したインターンで人との繋がりに無限の可能性を感じ、大学2回生時には学生団体を設立。現在は吹田にて中小企業と学生をつなげるB ar Bluを運営しながら、新サービスである学生専用クラウドソーシングサービスを開発中。

### 【審査員】

- 審査委員長 柳澤 大輔様 一般社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト理事副会長
- 副審査員長 仲木 威雄様 一般社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト理事
- 副審査員長 青木 大和様 株式会社DADA 代表取締役CEO
- 審査員 原田 岳様 株式会社DADA CCO
- 審査員 清光 陽介様 株式会社KokokaraGroup 代表取締役CEO
- 審査員 西井 香織様 NEWRON株式会社 代表取締役CEO
- 審査員 丁 舞香様 三和建設株式会社アシスト本部 ひとつくりグループ
- 審査員 菅原 佑介様 キャリア美人株式会社 人事部
- 審査員 佐藤 李香様 株式会社賢者屋 人財開発部
- 審査員 小海 舞様 株式会社サポーターズ メディア事業部

# 松井 大介

DAISUKE MATSUI

プロデューサー(41)

公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト事務局・プロデューサー。  
北海道で農業インターンシップを運営するTASUKI有限責任事業組合の理事や人事セミナーや就活イベントを開催している一般社団法人Match-Upの理事を務める。  
「地域」×「ワカモノ」を切口に様々な活動を行っている。

地域の魅力発信

### 事務局をすることになったきっかけ

以前、中川さんと日本最大級のプレゼン大会の運営を事務局として一緒に関わらせていただいていたこと、また自身でも地域創生・活性に携わっていたこともあり、事務局として参加することになりました。

### 現在の主な活動

個人として帯広や松山で地元の商工会議所や大学、脳母sんと共にプロジェクトを行っています。

事務局としては総務省が行っている「ふるさとワーキングホリデー」に事務局として関わり、ワカモノ集客を担当しています。



松山大学で行ったイベント「Take Action」

### 今後の活動

今後自身で行っている帯広や松山でのプロジェクトを全国に広げていきたいと考えています。

また地方の魅力を発掘・発信していくことで、「それぞれの人が自身にあった選択肢」の提示ができる世界を作りたいと考えています



インターン受入農家さんと参加者と一緒に

# 大浦 佐和

SAWA OURA

アシスタントプロデューサー(23)

2018年より「自分の人生を1からデザインする楽しさで溢れる社会」を目指す一般社団法人ことばの理事として活動しており、自身の自殺未遂、不登校、大学自主退学などの経験からキャリア教育事業や子ども交流イベントに携わる。

当法人の事務局・アシスタントプロデューサーに就任後は起業体験プログラム講師として、ジャパンチャレンジャープロジェクト開催地の中学生・高校生のアシストを担当するほか、事務～地方イベント運営まで幅広く事業全体に従事している。

「ワカモノ」の  
底知れぬパワーを  
信じる。

## 事務局をすることになったきっかけ

一般社団法人ことばの理事として活動を始めた当初に代表中川と出会い、団体として年間協賛を受けたことが始まりでした。その後個人としても成長したいと思い相談したところ、ジャパンチャレンジャープロジェクト発足の時期と重なり、メンバーとして参画することとなりました。

私は自身の家庭環境や学生時代の経験から、子どもたちやワカモノが興味のあることを周りから阻まれず、たとえ失敗したとしても心の動くことに果敢に挑戦できる環境が重要だ！と実感する機会が多くありました。ジャパンチャレンジャープロジェクトでも、多様な地域で事業にチャレンジする方々を全力で支え、自分自身もその姿から学びたいという気持ちで活動しています。

## 現在の主な活動

プロジェクト全般に携わっていますが、特徴的なものとして「起業体験プロジェクト」の講師を務めており、地方の中学生・高校生と出会い、地元の強みを生かした新たなビジネスプランの発案から実施までをサポートしています。将来の進路の選択肢として「起業してみたい！」「地元をもっと盛り上げる仕事がしたい！」と心から感じてもらえるような授業づくりを心がけています。



石川県立輪島高校での授業風景

## 今後の活動

地方に限らず、これから先の日本をつくっていくのは紛れもなく子どもたちでありワカモノであると考えています。

理事を務める一般社団法人には大学生が300人在籍しているため、ジャパンチャレンジャープロジェクトと大学生の化学反応を生める企画を作れないかと模索中です。

また自分自身も行ったことのない地域が多く、活動を通して地方の魅力をもっと知りたいと思っています。



ワカモノ向け手帳の開発打ち合わせ



# 奥川 季花

TOKIKA OKUGAWA

ディレクター(25)

公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト事務局・ディレクター。現在和歌山県田辺市と東京の2拠点で活動。高校時代、紀伊半島大水害により被災。林業を通して土砂災害リスクを軽減させることを目指し、現在は複数の林業会社で勤務。ソマノベースという山と人との関係をデザインし土砂災害による人的被害をなくすPJを立ち上げ事業展開中。

## 事務局をすることになったきっかけ

大学生時代に代表理事の中川さんのもとの、学生団体の代表として活動しており、当法人を立ち上げる際にお声かけいただいたことがきっかけです。私自身、和歌山県那智勝浦町出身で、地元から土砂災害をなくしたいという想いで、学生時代から活動していたということもあり、地方で活動される方に焦点をあてたこの事業に関わり、地方を盛り上げるサポートができればと思っています。普段林業に関わる仕事をしているのですが、当法人の活動を通して全国各地の林業地や林業家の方と出会うことも個人的には魅力的です(チャレンジャーの中に山関係のお仕事をされている方も登壇されるので!)

## 現在の主な活動

現在はディレクターとして全国で開催されるAWARDの運営を行っております。台本の作成や当日の機材周りの調整などが主な仕事です。それ以外に、広報担当として、WEBサイトの運用、記事の制作、SNSの更新を行っております。事務的なこととしては、理事のみなさんのサポートとして、各自治体への企画書の作成なども行っております。



制作した台本



AWARDの様子

## 今後の活動

今、チャレンジャーの方たちの活動をより多くの方に知っていただきたいと思い、WEBサイト上で彼らの商品を紹介できないか企画しております。また、他団体との連携や広報活動の本格化などを次年度取り組んでいく予定です。地元の和歌山での開催や、林業と連携ができてほしいなと思っています。

# 東田 一起

KAZUKI HIGASHIDA

ディレクター(23)

### 自己紹介

公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト事務局・ディレクター。

新卒で株式会社リクルートに入社し、現在法人営業を担当する傍らサービスのアドバイザーやイベントなどを主催。また「出会い」の総数を増やすため、キャリア相談やマッチングサイトを現在構築中。

### 事務局をすることになったきっかけ

元々活動することになったきっかけは夢アワードというイベントに関わっていた事が始まりです。大学2年生から大学生で構成される夢アワードという夢をテーマにしたビジネスコンテストを開催する学生団体に所属し、課外活動をメインですごく大学生と4年間を過ごしていました。夢といっても将来なしとげたいことや叶えたいという思いをもった大学生で様々な分野やジャンルの方が居て、普段では知らない人達と入れたことにとっても刺激を感じていました。夢アワードが終わり、社会人に近づいた大学4年生で中川さんとお話させていただいた時にジャパチャレの活動に魅力を感じ、立ち上げに関わる決心をしました。

### 現在の主な活動

現在は会社に入り、宿をメインにコンサルティングの業務を行っています。コロナウィルスノ影響で打撃を受けた旅行業ですが、その中でもどうやったらお宿様の売上やありたい状態を叶えられるかを試行錯誤する日々を過ごしています。ジャパチャレで学んだ、経営視点やマーケティングの視点を今の業務で意識することもあり、とても大切にしています。例えば、マーケティングの観点では担当するマーケット(地域)でどういうターゲットが活発に動いていて、そのためにどういう方法が一番そのターゲットに刺さるのかを考えながら業務に活かしています。今後もその感覚を磨いて行きたいと感じています。

### 今後の活動

ジャパチャレでは、イベントディレクター業務をメインで担当していました。四條畷や小諸、飯綱など現地のイベントでイベントの統括業務を行っていました。現地のチャレンジャーが最大限パフォーマンスに力を注げるような環境とビジネスコンテストの形を踏襲しながらイベントを運営するというミッションを持ちながら、業務に取り組んで居ました。大学時代から関わっていたイベント作りが生き、本当にやりがいのある業務をこなせたと思って29います。

# 樽本 理子

RIKO TARUMOTO

## アシスタントディレクター(21)

早稲田大学政治経済学部4年生。  
3年間シンガポールに住んでいた経験、シンガポールでの海外インターン経験、カナダでのホームステイ経験などの海外経験や、カフェ経営、大学の講義運営、メディアの長期インターンシップなどを通してリーダーシップも学んでいる。

趣味: イラスト  
特技: タイピング、サプライズ

あなたに、  
あなたの大切な人が  
輝く世界へ。

## 事務局をすることになったきっかけ

事務局の松井さんからお声がけいただいたことがきっかけです。私は東京で生まれ育ち、途中で海外生活をしたものの、都会での暮らししか見てきませんでした。就職するまでの半年間で自分の視野を広げたい、学生だからこそ挑戦できることがしたいと考えていたので、事務局として地域起業家の話を近くで聞き、少しでも地方創生に貢献できるこの環境に身を置きたいと考えました。今は地方で事業をすることの可能性を身に染みて感じる毎日で、一つ一つの出会いが刺激的です。「自分の名前で生きていく」ことを体現されている起業家さんと、地方のさらなる活性化のサポートに尽力していけたらと思います。

## 現在の主な活動

現在は10月に行われる「いざ！鎌倉 地方創生の祭典～JAPAN CHALLENGER AWARD～」に向けて準備の真っ最中です。具体的には、発表されるチャレンジャーさまのサポートや、記事作成、SNSの運営など事務全般を担っています。また当団体以外でも、メディアの運営や地方のワーキングホリデー、動画編集などの活動も行っております。



大学講義の運営時の様子  
(左・小池都知事)

## 今後の活動

鎌倉で行われる以外のイベントも一つずつ成功に導けるようなサポーターであり、チームにも大きく貢献できる不可欠な人材に成長できるよう、やったことのない業務にも積極的に手をあげ吸収していきます。私の夢の一つは、自分が好きなものを好きな人と一緒に、遍く人に届ける起業家になることです。そのためにも与えられた仕事以上に自分のアタマで考え、働き、成果を出して行きます。



シンガポールでの様子

# 年間活動報告

令和元年		
8月	30日	ジャパンチャレンジャープロジェクト発足会を開催。
9月	4日	一般社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト設立
	12日	熊本セミナー
	13日	熊本セミナー
	28日	大阪府四條畷セミナー(選考会)
10月	1日	大阪府四條畷学園セミナー
	13日	大阪府四條畷ブラッシュアップセミナー
	24日	石川県輪島セミナー
	26日	長野県小諸セミナー
	27日	長野県小諸セミナー
11月	1日	大阪府四條畷高校セミナー
11月	2日	石川県輪島セミナー
	3日	JAPAN CHALLENGER AWARD for youh 開催
	5日	熊本WEBセミナー
	7日	石川県輪島セミナー
	12日	四條畷ブラッシュアップセミナー
	14日	熊本ブラッシュアップセミナー
	16日	静岡県伊豆セミナー
	17日	静岡県伊豆セミナー
	23日	長野県小諸セミナー
	24日	石川県輪島セミナー(東京にて)
	30日	JAPAN CHALLENGER AWARD 四條畷開催
12月	8日	JAPAN CHALLENGER AWARD 熊本開催
	13日	石川県輪島高校セミナー、輪島セミナー
	14日	長野県飯綱セミナー
	21日	静岡県伊豆セミナー
	22日	静岡県伊豆セミナー
1月	11日	静岡県伊豆セミナー
	16日	石川県輪島セミナー
	18日	長野県飯綱セミナー
	19日	長野県飯綱セミナー
	20日	長野県小諸高校セミナー
	24日	一般社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト理事会
	27日	長野県飯綱セミナー
2月	2日	JAPAN CHALLENGER AWARD 飯綱 開催
	9日	JAPAN CHALLENGER AWARD 小諸 開催
	17日	石川県輪島高校セミナー、門前高校セミナー
	22日	静岡県伊豆セミナー
3月	1日	JAPAN CHALLENGER AWARD 銚子 開催
		JAPAN CHALLENGER AWARD 輪島 延期
	21日	JAPAN CHALLENGER AWARD 伊豆 開催
4月	4日	一般社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト理事会
5月		いざ鎌倉！JAPAN CHALLENGER AWARD 建長寺 延期
7月	7日	鎌倉チャレンジャー リモートセミナー

# 収支報告書

単位：千円

収支	1期実績
会費収入	12,760
協賛金収入	1,771
受託事業収入	9,271
事業収入	62
特別収入	2,000
<b>収入合計</b>	<b>25,864</b>
事業費	13,093
管理費	2,770
<b>支出合計</b>	<b>15,863</b>
期末残高	9,611

事業費	1期実績	管理費	1期実績
旅費交通費	1,540	給与	300
支払手数料	6,953	法定福利	
会場費	0	旅費交通費	24
ブース代	0	事務費	110
表彰費	340	会議費	142
テキスト代	243	貸借料	109
広告宣伝費	3,402	事務委託費	
印刷費	0	支払手数料	1,916
会議費	144	租税公課	114
雑費	474	雑費	50
<b>事業費合計</b>	<b>13,093</b>	<b>管理費合計</b>	<b>2,770</b>

\*事業費は、公益1、公益2、共通を合算しています。

\*事業費の広告宣伝費では、当初計画のなかった書籍制作を行いました。地方起業の教科書は、増刷にもなり、今後は印税も入ってきます。

セミナーのテキストとしても活用しますが、弊社の活動を知っていただくため、省庁は自治体、学校へ配布してます。

\*管理費の支払手数料は、公益手続きの報酬です。